

令和
7
年度

いよばのちり 6



みなさん、
いっしょに べんきょう
しましょうね。



ことばのきまり
イメージキャラクター
ことちゃん

目次

一	熟語の構成 ^{じゆく}1
二	文と文とのつながり つなぐ言葉の使い分け.....4
三	漢文に親しもう.....6
四	場面に応じた言葉づかい.....8
五	複合語.....10
六	似た意味の言葉の使い分け.....12
七	表現をくふうする.....14
八	六年間の復習.....16

表紙 岡崎

カット 幸田

豊橋 みよし

浅井 優子先生
成田 綾香先生
嶋田 佑子先生
大須賀貞治先生
吉田 祐示先生
河合 桂子先生



一 熟語の構成

【教科書 P44～P45】

漢字三字の熟語の構成には、次のようなものがあります。

- | | | | | |
|---|-------|-----|-----|------------|
| ① | 〇—〇〇 | 新学期 | 大自然 | 一字の語＋二字熟語 |
| ② | 〇〇—〇 | 児童会 | 学級会 | 二字熟語＋一字の語 |
| ③ | 〇—〇—〇 | 大中小 | 陸海空 | 一字の語が三つならぶ |

(一) 次の熟語はどう分けられるか、右の の中の①②③の記号を書きましよう。

1 高学年 ()

2 衣食住 ()

3 再発行 ()

4 国有林 ()

5 温度計 ()

6 心技体 ()

7 想像力 ()

8 好景気 ()

9 上中下 ()

熟語の構成を的確にとらえると、その言葉がどんな意味を表しているのかを正しく理解することができます。



試してみよう

静岡県総合教育センター
言葉の部屋「三字熟語」

(二) 四字以上の熟語の構成には、いろいろなものがあります。

次の熟語はどう分けられるか、例のように―を使って書きましょう。

〈例〉卒業文集

卒業―文集

1 特急列車

2 東西南北

3 理解不十分

4 地球温暖化

5 未確認生物

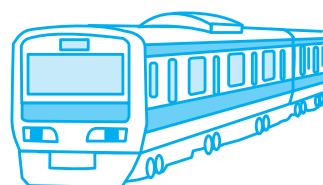
6 国立美術館

7 空想科学小説

8 移動性高気圧

9 学校保健委員会

10 防災対策強化地域





「君・手・店」などは、他の単語の下について意味をそえ、新しい単語を作るのに使われます。「性的・化」のように、漢語の名詞の下について、そのようなすを表すものがあります。

(三) 次のことばのあとに、下の の漢字やひらがなの中から合うものを選んで書きましょう。

1 神

2 読み

3 運転

4 くつ

5 寒

6 山本

7 先生

8 満足

方^{がた}

気

君

感

屋

様

手^{しゅ}

手^て

(四) 次の漢語のあとに、下の の中から合うものを選んで書きましょう。

1 共通

2 科学

3 機械

4 芸術

5 代表

6 可能

7 映画

8 国際

9 野生

化的性

化

「～のように変わる」
「～のように変える」

性

「～の性質」
「～の程度」

的

「～のような」
「～の性質をもつ」





① これは私が焼いたクッキーだ。

② 私が焼いたクッキーはおいしかった。

①と②の文はそれぞれ③と④のように書きかえることができます。

③ 私がクッキーを焼いた。これはそのクッキーだ。

④ 私がクッキーを焼いた。そのクッキーはおいしかった。

修飾の関係が長くなったり、複雑になったりするときは、**指し示す言葉**を使い文を分けることができます。

次の文章を読んでみましょう。

⑤ ぼくは六時に起きた。朝食を食べ、したくをして、七時半に家を出た。そして、八時に学校に着いた。

では次の⑥の印象は、⑤と比べてどうちがうでしょう。

⑥ ぼくは六時に起きた。ぼくは朝食を食べ、したくをして、七時半に家を出た。そしてぼくは八時に学校に着いた。

⑥は⑤と比べて少しくどいように感じます。主語がない⑤のほうが、うまく読み進められるのではないですか。

文末の表現に着目する

次の文章の一文目と二文目のつながりをとらえましょう。

⑦ このモアイ像を、石切り場から運ぶために森林がぎせいとなった。重さが何トンもある巨大な像を運んでゆくの、森林から切り出された木が利用されたのである。

⑧ しかし、その繁栄は決して長くは続かなかった。太い木が、切りつくされてしまったからである。

⑦の二文目は、「森林がぎせいになった」ことをくわしく説明しています。⑧の二文目は、「長くは続かなかった」こと理由を説明しています。このように、文末に着目することで、文と文とのつながりをとらえることができる場合があります。

文の中にある主語と述語の関係は
ほかの言葉を修飾することができます。

練習問題



つなぐ言葉の使い分け

【教科書 P88～P89】



「つなぐ言葉」とは、前の文と後の文をつなぎ、関係をはっきりさせる働きがあります。
「つなぐ言葉」には、教科書 P88～P89 のように、いくつかの種類があります。

(一) 「つなぐ言葉」に注意して後の文を選び、記号で答えましょう。

1 兄は算数が得意だ。さらに ()

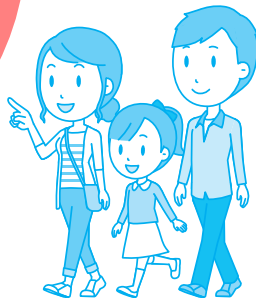
2 一生けん命勉強した。しかし ()

3 遊園地に行きたい。なぜなら ()

4 食べたいのはケーキですか。それとも ()

ア テストの点はよくなかった。イ 国語も得意だ。

ウ 観覧車に乗りたいからだ。エ クッキーですか。





三 漢文に親しもう

【教科書 P70～P73】

みなさんは、「百聞は一見にしかず」という言葉を知っていますか。「人の話を何度も聞くよりも、一度自分の目で見るほうがよくわかる。」という意味です。ふだんの生活の中でも使われるこの言葉は、もとは中国から来たものです。

昔の中国では、次のように書き表していました。

百聞不如一见

このような文を漢文といいます。日本人は、これを理解するために、日本語として読むためのくふうをしました。ほかに昔の中国で生まれた言葉はたくさんあり、わたしたちの生活の中で使われています。

(一) 次の漢文の意味としてふさわしいものを線で結びましょう。

1 聞 一 以 知 十

2 温 故 而 知 新 可 以 為 師 矣

3 不 入 虎 穴 不 得 虎 子

(虎穴に入らずんば 虎子を得ず)

昔のことをじっくりと学んで、そこに新しい考え方を
見つけ出すことができれば、人の師となれるだろう。

一つのことを聞いただけで、十のことをささる。

大きな利益を得るためには危険や負担を覚悟してこと
にあたらねばならない。



(二) 次の漢文からできた言葉の意味を正しく線で結びましょう。

1 過ぎたるはおよばざるがごとし

2 春眠^{しゅんみん} 曉^{あかつき}を覚え^{おぼ}ず

3 国^{くに}やぶれて山河^{さんが}あり
城春^{じょうはる}にして草木^{そうもく}深^{ふか}し

4 巧言^{こうげん}令^{れい}色^{いしよく}、すくなし仁^{じん}

5 君子^{くんし}は義^ぎにさと^り、
小人^{しょうじん}は利^りにさと^る

6 為^なさざるなり、
あたわざるにあらざるなり

戦によって都はこわされてしまったが、
大自然の山や河はずっと変わらず、町は
春をむかえて、草木が生い茂っている。

やりすぎは足りないことと同じくらいよく
ない。

話がうまく、だれにでもいい顔をする人の
中に、思いやりのある人はめったにいない。

よくできた人は何をすべきかを考え、
つまらない人は何をすれば得かを考える。

春の夜は暖かくてねごちがよいので、朝が
来てもなかなか目を覚ますことができない。

できないのはしようとしていないからである。



見てみよう



NHK for School
おはなしのくにクラシック
「漢詩『春暁』」

漢文からでき
た言葉は、ほか
にもたくさんあ
るよ。





四 場面に応じた言葉づかい

【教科書 P124 ～ P125】

わたしたちは、生活の中で、相手や場面に応じて言葉を選んで使い分けています。次の二つの文を読み比べてみましょう。

・ 同級生に対して ↓ 「ねえ、このえん筆借りてもいいかな。」

・ 先生に対して ↓ 「先生、このえん筆をお借りしてもいいですか。」

この場合、話す内容が同じであっても、目上の人である先生に対して話すときは、敬語を使います。

「お借りする」は「借りる」のけんじょう語、「です」はていねい語です。また、改まった場面や、話す内容、相手の状況によって、ふさわしい言葉づかいをします。しかし、言葉づかいはていねいでも、使い方が適切でないと、相手にいやな思いをさせてしまうことがあるので、注意が必要です。

・ 来客に対して 「駅まで送ってあげます。」と言うと、相手はどんなことを考えるでしょうか。教科書を参考にして考えてみましょう。

(一) 次の場面では、どのような言い方をすればよいでしょう。 ———— の部分を書き改めましょう。

1 自分のおばあさんが言ったことを、老人会の代表の人に伝える。

「おばあさんは、来週の敬老会は欠席すると言っていました。」

2 卒業式にお祝いに来たお客さんを、体育館まで案内する。

「体育館はあっちです。わたしが、案内します。」



(二) 次の場面では、どのような言い方をすればよいでしょう。

から選んで、() に記号を書きましよう。

1 目上の人に図書館への行き方をたずねる場合

() 図書館への行き方を教えて()。

2 友達に何かしてもらいたいと思っている場面

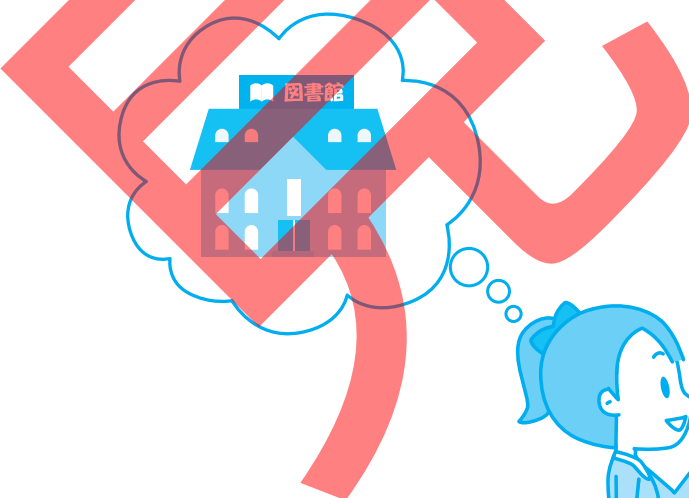
() あそこにある荷物を取って()。

ア ちょっと、いいですか。

イ くれなかな

ウ いただけませんか

エ ちょっと、いい。



見てみよう



NHK for School
お伝と伝じろう
「目上の人と話するとき」



五 複合語

【教科書 P184 ~ P185】



- ① 見る 送る ↓ 見送る
③ オレンジ ジュース ↓ オレンジジュース

右のように、①は和語、②は漢語、③は外来語が組み合わせること、①見送る
②家庭訪問③オレンジジュースといった新たな言葉が生まれる場合があります。こ
のような言葉を**複合語**といいます。複合語には次のような組み合わせがあります。

○和語と和語の組み合わせ

・筆箱(筆の 箱) ・早起き(早く 起きる)

○漢語と漢語の組み合わせ

・特別価格(特別な 価格) ・管理事務所(管理するための 事務所)

○外来語と外来語の組み合わせ

・デジタルカメラ(デジタルの カメラ) ・メロンジュース(メロン味の ジュース)

(一) 次の言葉を組み合わせて、複合語を作りましょう。

- 1 話す 合う ↓ ()
2 書く 表す ↓ ()
3 紙の 飛行機 ↓ ()
4 長い スポン ↓ ()
5 テニス ラケット ↓ ()
6 サッカー ボール ↓ ()

その他にも、複合語にはさまざまな言葉
の組み合わせがあります。

○和語と漢語 桜前線

(桜の 前線)
→和語 →漢語

○外来語と漢語 ピアノ教室(ピアノの 教室)

(ピアノの 教室)
→外来語 →漢語

○和語と外来語 輪ゴム

(輪の ゴム)
→和語 →外来語

教室にあるピアノの
ことを「教室ピアノ」
とは言わないね。



「野球少年」と
「少年野球」は
意味がちがうよね。





複合語を作るとき、元の言葉の音が変化する場合もあります。

○ 雨（あめ）＋ かさ ↓ あまがさ

○ こわい ＋ こわい ↓ こわごわ

○ 酒 ＋ 屋 ↓ 酒屋（さかや）

○ 鼻 ＋ 血 ↓ 鼻血（はなぢ）

長くなった複合語は、短く縮めて表現される場合があります。

○ 入学 ＋ 試験 ↓ 入学試験 ↓ 入試

○ 通信 ＋ はん売 ↓ 通信はん売 ↓ 通はん

○ カーナビゲーション ↓ カーナビ

○ シャープペンシル ↓ シャーペン

(二) 次の複合語を短く縮めて表現しましょう。

1 高等学校 ()

2 国際連合 ()

3 パトロールカー ()

4 コンビニエンスストア ()

5 エアコンディショナー ()

6 パーソナルコンピューター ()

日本語には、複合語がたくさんあるよ。ほかにはどんな複合語があるのか調べてみるとおもしろいよ。





六 似た意味の言葉の使い分け

【教科書 P202～P203】

① 兄はおせっかいだ。

② 兄はめんどろ見がよい。

①の文も②の文も、——線部に人の世話をよくする様子を表す言葉が使われていますが、②の文の方がよい印象を与えます。このように、意味が似ている言葉でも、あたえる印象が異なる場合があります。

(一)

線部の表現に注意して、聞き手によい印象をあたえる文に○を付けましょう。

1

() 君のように仕切りたがりの人がいると、物事が早く決まる。
() 君のようにリーダーシップのある人がいると、物事が早く決まる。

2

() 明日、ひまですか。
() 明日、お時間ありますか。

3

() まだやっているなんて、あきらめが悪いなあ。
() まだやっているなんて、ねばり強いなあ。





③小さな子どもたちが遊んでいる声がにぎやかだ。④小さな子ども達が遊んでいる声がさわがしい。
「にぎやか」と「さわがしい」は、音や声が大きい様子を表すという点で共通しています。しかし、「にぎやか」はその様子を好ましくとらえ、④の「さわがしい」はその様子をよくないものとしてとらえているという、書き手のとらえ方のちがひがあります。

(二) 次の文の——線部を、書き手が好ましい様子としてとらえている言葉に直します。適切な言葉

から選び、記号で書きましよう。

1 君は何事にもでしゃばりな人ですね。()

ア 強引な イ 積極的な ウ 目立ちたがりな

2 その洋服の色、とてもはでですてきですね。()

ア あざやかで イ 古めかしくて ウ 流行おくれで

3 そんなに小さくなるまでえんぴつを使うなんて、君ってけちなんだね。()

ア しんぼう強いね イ しみったれたね ウ 物を大切にするんだね

意図を正しく伝えるためには、言葉の意味だけでなく、あたえる印象にも注意して、その場にふさわしい言葉を選ぼう。





七 表現をくふうする

【教科書 P242～P245】

言葉を選び表現をくふうすることによって、自分の感じたことや思ったことを、より印象的に伝えることができます。

① 比喩^{ひゆ}を使う……あるものを別のものにたとえて表現することで、いきいきと様子を伝えることができます。

例 あゆの雲はわたあめのようだ。 人生とは旅である。 風がささやいた。

② 言葉の順番を入れかえる……言葉の順番を入れかえることで、印象を強めることができます。

例 おいしいね、このお店のケーキは。 あの人だったのか、ぼくを助けてくれたのは。

③ 言葉をくり返す……同じ言葉や似た言葉をくり返すことで、印象を強めることができます。

例 前へ前へと進んでいく。 会いたい。はやく会いたい。

(一) 次の文の中で、比喩を用いているものには①、言葉の順番を入れかえているものには②、言葉をくり返しているものには③を書きましよう。

1 かのじよのはだは雪のように白い。 () 2 かれは言った。大きな声で言った。 ()

3 小鳥たちが歌う。 () 4 ついに終わった、夏休みが。 ()

5 青く青くすみわたる空。 () 6 書類の山ができていく。 ()



(二) 次の文を、比喩^{ひよ}を使った表現に書きかえましょう。

1 妹のほおは赤かった。

2 雨がたくさん降^ふっている。

(三) 次の文を、言葉の順番を入れかえる前の文にしましょう。

1 待ってください、そのジュースを飲むのは。

2 がんばれ、きつとうまくいくはずだから。



参考にしよう



東広島市「詩のポイント」

読み手にあたえる
印象を考えながら、
自分の文章にも表現
のくふうを取り入れ
てみましょう。



八 六年間の復習

◎ これまでのことばのきまりで学習した内容の問題です。復習してみましょう。

一年生

(一) 絵を見て、合う言葉を書きましょう。



おね さん
お さま
かきこ り
れ ぞ こ

(二) 次の の中に、「は・わ・へ・え・を・お」のどれかを書きましょう。

1 わたし 、か いい動物が好きです。

2 お母さん 、 みがきをしています。

3 ぼくは、一人で家 帰りました。

4 わたしは、公園 妹をおか に行きました。

5 ぼくは、ねこにかつ ぶし やりました。

6 手 しっかり上げて横断しましょう。

を・お

へ・え

は・わ



ほおずき

ひらがなで書くときに
「お」と書く言葉には
こんなものがあるよ。
「とおくの こおりの 上を
おおきな おおかみ
とお とおる。
(十ひき)
おおくの こおろぎ
おおあわて。」
とおぼえるよ。
こんな
植物も あるよ。



(三) 次の〔 〕の中は、どちらが正しいでしょう。よい方を○で囲みましょう。

1 ぼく 〔 わ は 〕 、せみ 〔 お を 〕 つかまえに、裏山 〔 え へ 〕 行きました。

2 ライオンは、 〔 おり をり 〕 の中で 〔 えさ へさ 〕 を食べています。

3 〔 わたし はたし 〕 は、学校 〔 え へ 〕 弁当 〔 お を 〕 持っていました。

(四) 次の漢字の、()の上に書いてある以外の読み方を書きましょう。

一日 いちにち ()

二日 ににち ()

三日 さんにち ()

四日 よんにち ()

五日 ごにち ()

六日 ろくにち ()

七日 しちにち ()

八日 はちにち ()

九日 くにち ()

十日 じゅうにち ()

二十日 にじゅうにち ()



八日と十日の読みがなは
まちがいが多いよ。
一年生の学習を思い出し
て正しく覚えよう。



(一) ———— のことはの書き方が正しい方に○をつけましょう。

1
() ()

石ころが池にぽちゃんとおちた。

石ころが池にポちゃんとおちた。

2
() ()

時計がリーンと鳴った。

時計がりいんと鳴った。

3
() ()

くつがピカピカひかる。

くつがぴかぴかひかる。

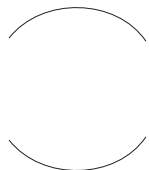
4
() ()

星がきらきらかがやいている。

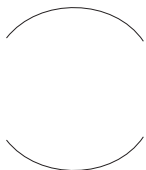
星がキラキラかがやいている。

(二) 次の漢字の点線の部分は何画目でしよう。何画目か数字で書きましょう。

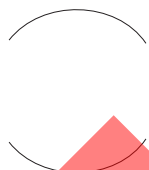
火



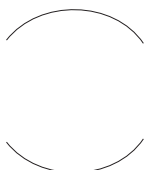
遠



中



早



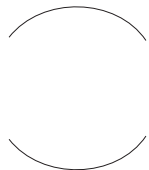
女



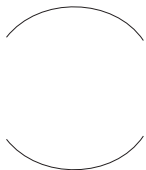
長



右



左



音はかたかなで、
様子はひらがなで
書くよ。



(三) 反対の意味になる言葉を書きましよう。

1 強い

4 短い

7 貸す

2 広い

5 軽い

8 のびる

3 熱い

6 明るい

9 開ける

(四) 次の物を数えるときには、どんな言葉を後につければよいでしょう。

1 えんぴつ

4 くつ

7 本

2 りんご

5 いす

8 うさぎ

3 下じき

6 とうふ

9 自動車



(一) 「高い」を、必要ならば文に合うように形を変えて () の中に書きましょう。

1 もっと () とびたい。

2 気温が () 日が続く。

3 フェンスが、もう少し () ば、ボールが川に落ちなくてすんだのに。

(二) ——— の言葉は、どれを指しているでしょう。 () の中から選んで () で囲みましょう。

1 向こうから大きなトラックがやってきた。それを見た店の人たちは、急いで表に出てきた。

(向こう ・ 大きなトラック ・ 店の人たち ・ 表)

2 机の上にえんぴつがあります。それを取ってください。

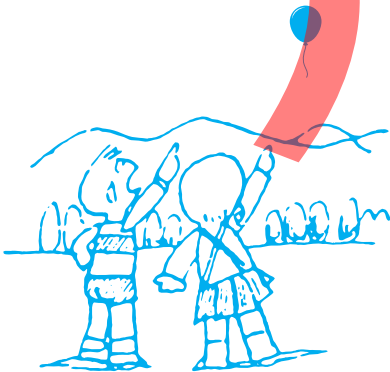
(机 ・ 上 ・ えんぴつ)

3 「遠くに丸いものが見えるね。」「あつ、本当。あれはいったい何かな。」

(遠く ・ 丸いもの ・ いったい)

4 きれいな花がさいています。これを妹にプレゼントしよう。

(きれいな花 ・ 妹 ・ プレゼント)



(三) 次の言葉の意味は下のどれになるでしょう。線で結びましょう。

- | | | | |
|---|---------|---|------------------------|
| 1 | さじを投げる | • | どうにもできないこと。 |
| 2 | 水に流す | • | 見こみがないとあきらめること。 |
| 3 | 手も足も出ない | • | 今までのことをすべてなかったことにすること。 |
| 4 | しびれを切らす | • | 勢いの強いものに、さらに勢いを加えること。 |
| 5 | 火に油を注ぐ | • | 待ちくたびれて、がまんができなくなるること。 |
| 6 | 目が回る | • | 非常にいそがしいこと。 |

(四) ローマ字で書きましょう。

○ かわ

○ はる

○ みかん

○ おんぷ

(五) 次のローマ字を読みましょう。

○ otôsan ()

○ tyokinbako ()

○ kappa ()

○ yakyû ()

○ hon'ya ()



(六) 次の部首の名前を書きましょう。

ネ	ネ	冂	言	シ	禾	木	イ
()	()	()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()	()	()
あし	4	かんむり	3	つくり	2		
心	ハ	ナ	ケ	冂	文	欠	
()	()	()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()	()	()
たれ	7	によう	6	かまえ	5		
疒	厶	广	走	辶	問	回	
()	()	()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()	()	()



(七) 次の() に漢字を書きましょう。

1 た・つ
波が()
ビルが()

3 か・わる
だんだん色が()
父に()
わって、ぼくが行く。

5 はじ・めて
日記を()
めて百メートル泳いだ。
めて三年たった。

2 あつ・い
とても()
()
()
い本を読む。

4 はや・い
まだ時間が()
走るのが()
い。

6 あ・ける
席を()
夜が()
戸を()
ける。
ける。
ける。

(一) 例のように、主語には――を、述語には――を引きましょう。

〈例〉白い 花が 花だんに さいた。

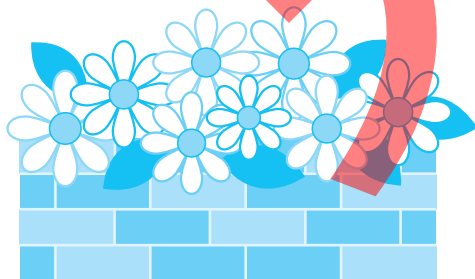
1 き・う 雨が 降った。

2 おばあさんが わたしに かわいい かばんを くれた。

3 山下さんの 家族も とても にぎやかだ。

4 ぼくの 持っている 筆箱は 新しい。

5 教室には、机が たくさん ある。



四年生



(二) 次の文の~~~~の修飾語を の中から選んで書きましょう。

わたしは、一人で（
）立っていた。

2
(
(
日ざしが、顔の上にふりそそぐ。

3 かん者さんの中には、（熱を出す人もいる。）

4 いろいろな物がそろそろ（店が近くにある。）

5
(音楽がへやの中に流れている。

(三) 意味の通る正しい文にするには、どの言葉を使ったらよいでしょう。よいもの一つを○で囲みましょう。

春になった。
 し だ
 か か
 し、 ら、
 ふく
 風はまだ冷たい。

2
頭が痛い。

それ、
つまり、
ところ、

おなか
も痛い。

3 雨が激しく降ってきた
 のが、の
 に、で、
 今日の運動会は中止になってしまった。



高い
あたたかい
便利な
静かな
さびしく



(四) 次の文章を、「」の意味がはつきりするように読点を打ち、書き改めましょう。

姉は楽しそうにおどる妹をながめる。

〔楽しそうにしているのが姉の場合〕

〔楽しそうにしているのが妹の場合〕

(五) 次の文の主語には――、述語には――、修飾語には――が引いてあります。

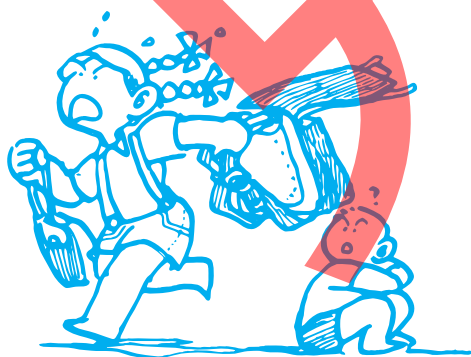
――はどの言葉を修飾しているか――で示しましょう。

〔例〕妹は、あわてて 行った。

1 わたしの 母は よく 笑う。

2 強そうな 黒い 牛が 急に 出てきた。

3 びっくりした 少年は とつぜん 大声で 泣き出した。



(一) 次の文を の関係になるように書きかえましょう。

雨が降った。だから祭りは中止だ。

1 逆接

2 仮定

3 逆接の仮定

(二) 次の主語と述語が二組ある文を、一つの文にまとめましょう。

1 ぼくが えんぴつを 買った。その えんぴつが 折れた。

2 妹が 花を 植えた。これは その 花だ。

(三) 次の文の主語には――、述語には――を書きましよう。また、つなぐ言葉や

指し示す言葉を用いて、二つの文に分けましよう。

1 ぼくが 植えた 花が さいた。

2 わたしは 兄が とってきた カブトムシを 見た。



(四) 次の文中の——の言葉を尊敬語に直し、左の□から選んで、() に記号を書きましょう。

1 おばさんが人形をくれた。

2 校長先生が話をする。

3 お医者様が言ったこと。

4 お客様が買った洋服。

5 今日、家に先生が来る。

6 お客様が食べるおかし。

ア おっしゃった

イ いらっしゃる

ウ めしあがる

エ くださった

オ される

カ お買いになった

(五) 次にあげる言葉を「…れる」「…られる」のような形の尊敬語にしましょう。

1 来る ()

2 飲む ()

3 立つ ()

4 乗る ()

(六) 次の文中の——の言葉をけんじょう語に直し、左の□から選んで、() に書きましょう。

1 弟が、明日行きます。

2 おじさんからカメラをもらった。

3 校長先生の絵を見る。

4 何も言うことはありません。

5 そのことでしたら、聞いています。

申し上げる

いただいた

参ります

うかがって

拝見する



(七) 熟語の構成を考え、 の中の語を仲間に分けましょう。

1 にた意味を表す漢字が組み合わさっている。

() () () ()

2 意味が対になる漢字が組み合わさっている。

() () () ()

3 上の漢字の意味が、下の漢字の意味をくわしく説明している。

() () () ()

4 上の漢字が動作や作用を、下の漢字がその対象を表している。

() () () ()

5 上の漢字が、下の漢字の意味を打ち消している。

() () () ()

(八) 次の語の読みがなを書きましょう。

また、漢語には1、和語には2を、

〈 〉の中に書きましょう。

1 通 知 () 〈 〉 2 花 火 () 〈 〉

3 個 性 () 〈 〉 4 開 店 () 〈 〉

5 新 年 () 〈 〉 6 屋 根 () 〈 〉

7 野 原 () 〈 〉 8 休 日 () 〈 〉

乗馬	絵画	開閉	早春	黒板	無効
利害	海洋	直線	不安	投票	出発
開会	未知	有無			



(一) 次の熟語はどう分けられるでしょう。
 の中から選んで、その記号を () の中に書きましょう。

1 衣食住 ()

2 新学期 ()

3 上中下 ()

4 学級会 ()

5 満足感 ()

6 再発行 ()

7 天地人 ()

ア ○—○○ 一字の語+二字熟語

イ ○○—○ 二字熟語+一字の語

ウ ○—○—○ 一字の語が三つならぶ

(二) 次の文の中で、比喩を用いているものには①、言葉をくり返しているものには②、言葉の順番を入れかえているものには③を書きましょう。

1 かのじよのはだは雪のように白い。 ()

2 かれは言った。大きな声で言った。 ()

3 小鳥たちが歌う。 ()

4 ついに終わった。夏休みが。 ()

5 青く青くすみわたる空。 ()

6 書類の山ができています。 ()



(三) 次の言葉の の中に、下の から合うものを選んで書きましょう。

1 関心

2 完成

3 可能

4 公式

5 常識

6 解決

7 意味

8 自由

(四) 次の言葉につくものを下の から選んで書きましょう。

1 共通

2 科学

3 機械

4 芸術

5 代表

6 可能

化 的 性

未 非 無 不



漢字でしりと

開 — 覧 会

納 — 属

優 — 傷

防 — 星 — 席

令和7年度版 ことばのきまり 6年

編集 「ことばのきまり」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819

印刷 有限会社岡崎活版所

※無断で複写・複製することを禁じます。

※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。



名前

年

組

観察